

課題名

目元の情報から反応速度を推定する技術の事業化

プロジェクトの概要

研究代表者は、目やまぶたの動きを測定し、機械学習を組み合わせることで、重度だけではなく、軽度の反応遅延を検出する技術の開発に成功した。目やまぶたの動きを測るだけで、普段の生活の中で、特に課題を負荷することなくヒヤリハットから事故レベルまでの反応遅延の状況を推定できる技術を事業化する。



目元の情報を用いた反応速度の推定

ビジネスモデル(申請時)

周囲の状況に対して迅速な対応が求められる職種に向けた事業化を目指す。非接触型のカメラを用いた反応速度推定装置によって、作業実施中の反応速度を可視化する技術を提供する。

活動計画(申請時)

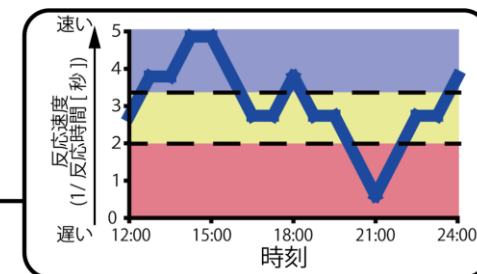
- (1)プロトタイプ開発を行う。非接触型装置を用いた目元計測によって反応速度推定を可能にする。また、反応速度推定結果が、短時間睡眠によって低下することを検証する。
- (2)目元情報の解析技術を改良する。より低解像度の画像であっても目元情報の解析をより高精度に実施できるようにする。
- (3)ビジネスモデルの検証を行う。課題仮説を構築し、想定顧客インタビューを実施することで、課題とソリューションの検証を行う。



目やまぶたの動きを記録



反応速度の推定



プロトタイプのイメージ